



「第17回図書館まつり」を8月19日(土)、20日(日)に開催します。19日(土)は、午前11時から小川長さん(尾道市立大学教授)を講師にお招きした「ビブリオバトル講演会」午後2時から沢山美果子さん(岡山大学大学院客員研究員)を講師にお招きした講演会『いのち』からみた津山藩の女・男・子ども」を開催します。

津山市教委 かわら版

津山市教育委員会だより 平成29年7月 第25号

教育委員の紹介



尾島教育委員 長江教育委員 森教育委員 寺元教育長 職務代理者 原田教育長

会」による「タオルでぬいぐるみをつくる」など楽しいイベントを行います。また両日とも、「雑誌の付録プレゼント」本のお楽しみ袋、「かつばみくじ」などおなじみのイベントも用意しています。夏休みに大人も子どもも参加できるイベントをご用意しておりますので、是非足をお運びください。



また、「夜の図書館」を19日(土)午後7時から9時に開催します。「みゆーじかる劇団きんちやい座」による劇、「アンサンブル青猫」によるコンサート、「美作大学児童文化研究

部」による「かわいい絵本の読み聞かせ、書庫探検など、大人も子どもも楽しめるイベントです。夏の夜に昼間とちよっと違った図書館を楽しんでみませんか? お問い合わせは、市立図書館まで。 ☎ 24 2919

第3回「見つけよう!津山の魅力」調べる学習コンクールを開催

市教育委員会は、今年度も小・中学生が疑問や興味を持ったことを調べてまとめた作品を募集するコンクールを開催します。対象は、津山市在住・在学の小・中学生(個人またはグループ)で、テーマは津山から発展させたことなら歴史・観光・人物・特産物・産業・地形・気候など何でも構いません。市立図書館をはじめ津山郷土博物館・津山洋学資料館・津山弥生の里文化財センターや加茂・勝北・久米地域で勉強会の場を設け、調べる学習の内容のヒントにして

もらい、市立図書館や学校図書館等で調べのお手伝いをします。



5月21日説明会の様子

コンクールの優秀作品は表彰し、市立図書館等で展示するとともに、冊子にして市内全小・中学校へ配布します。また、作品の一部を公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクール、図書館を使った調べる学習コンクールへ推薦します。コンクールや相談会への申込・問い合わせは、市立図書館まで。 ☎ 24 2919



育への熱い思いや願いをお聞きしました。そして、先生方のご苦勞を肌で感じ、思いを共有しました。



授業参観

また、授業参観では、児童・生徒の皆さんの明るい笑顔、元氣な挨拶、学び合う姿に嬉しく思いました。その他にも、地域の方々に学習の支援、登下校の見守りなど、学校への熱心な支援を感じました。学校・家庭・地域が繋がりが、子どもたちを育てていければと思います。

平成29年度津山市立小中学校研究指定について

本年度も、各学校の学校力向上を目指して、各種研究を推進していきます。様々な研

今年度、新たに尾島教育委員を迎え、教育委員5人がそれぞれ立場から津山市の教育行政の推進のため活動しております。今後とも、津山市の教育の推進にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

教育委員による学校等施設訪問の実施

教育委員による学校訪問を5月29日から6月26日の期間で実施し、小学校14校、中学校4校をはじめ、生涯学習施設、文化施設などを訪問しました。



学校の取り組み等の説明

小・中学校では、校長・教頭先生から学校経営・学校運営などについてお伺いし、教

発行 津山市教育委員会 (編集 学校教育部教育総務課) 〒708-8501 津山市山北520番地 TEL 0868-32-2112 (直通) FAX 0868-32-2157 E-mail: kyouiku@city.tsuyama.lg.jp



究指定がありますが、その内新たに実施する研究として「学校ICT環境整備事業」「子どもの体力向上プロジェクト」「子どもICT環境整備事業」は、教室にデジタル教科書や指導用のタブレットなどのICT機器を整備し、これらを活用した授業を推進するもので、3か年で全小中学校に完備するよう予定しています。初年度はモデル校として、林田小学校・佐良山小学校・成名小学校・中道中学校・久米中学校の5校を指定しています。 「子ども体力向上プロジェクト」は、音楽に合わせた運動を行う中で、楽しみながら俊敏性やリズム感、一体感などを養うことができます。運動の得意な子はもちろん、苦手な子も親しむことができるなど様々な可能性を秘めています。美作大学津田准教授の指導を受けながら、高田小学校、大崎小学校、誠道小学校、勝加茂小学校を中心として本年度の研究を進めていきます。

平成29年度津山市内
小中学校児童生徒交流会



全体交流で発表する児童・生徒

津山市では、「津山市いじめ問題対策基本方針」に基づき、6月をいじめ防止啓発月間と位置づけています。今年度も各校におけるいじめの未然防止に向けた児童生徒の主体的な取り組みを推進するため、6月17日(土)津山リージョンセンターにおいて「平成29年度津山市内小中学校児童生徒交流会」を開催しました。

第一部では、いじめ問題(スマホ・ネット問題も含む)に関わる小・中学校代表校(中正小・弥生小・勝北中)

の取り組み発表を行い、その後、中学生の進行でグループ内の取り組み発表を行いました。中学生が考えたアイスブレイク等で当初の緊張感も次第にほぐれ、小学生を上手にリードしながら話し合いが進んでいきました。各グループ内で全体に紹介したい取り組みを決め、全体交流で共有しました。中には、寸劇を交えた発表をするグループもあり、それぞれの意気込みが感じられました。



グループ交流する児童・生徒

第二部では、美作大学の岡村健太先生を講師に迎え、「いじめについて考える」大人の願いと子どもの考え」と題し児童生徒研修を行いました。子どもたちは、津

山市の小6・中3のスマホ・ネット問題に関わる実態や、各学校や市でいじめ問題対策基本方針が策定されていることを知り、大人も子どもも全員でいじめ問題に取り組んでいくことが大切であることを学びました。

【参加者の感想】
各校的アイデアが自分たちだけでは思いつかないような発想だったので、今日学んだことを学校の取り組みに活かしていきたい。

中学生が緊張をほぐすゲームをしてくれたり、きちんと進行をしてくれたので楽しかった。
取り組みには、実態を把握するもの、マイナス面を少なくするもの、プラス面を伸ばしていくものがあり、この3つをバランス良く行っていくことが大切だと思った。
小学生にとって取り組みの価値を再確認でき、中学生のリーダーシップを学ぶ良い機会となった。



公民館長研修会「津山ガス天然ガス事業所見学」



タンクローリーからの移送作業

現在、「つやま子ども未来塾」として、企業などを訪問し、見学や体験などをさせていたが、地元企業への理解や関心を深め、地域理解と将来の市内定住につながる取り組みを進めていきますが、公民館長が定期的

6月16日(金)、市内野介代にある津山ガス(株)天然ガス事業所を市内23館の公民館長が訪問しました。これは、夏休みを控え、公民館活動の中で、親子などで参加する講座を企画する際の参考とするために訪問したものです。

地元企業を訪問しながら、子どもたちの体験活動の幅を広げています。

当日は、天然ガスの流通に関する映像を視聴したあと、天然ガスをタンクローリーから貯蔵タンクまで移送する工程やガスへの臭気付け等の様子を見学しました。気温が高いにもかかわらず、液体窒素で冷やされた天然ガスが配管内を通ると、瞬時にパイプ表面が凍結する様子には驚かされました。



管理事務所

勝北陶芸の里工房は子どもから大人まで幅広い年齢の方に利用いただき、また、様々な方のお手伝いもいたいただきながら、昨年度、20周年を迎えることができました。



勝北陶芸の里工房 登り窯 初夏の窯出し

登り窯では、松の割木を絶え間なく炊き続け、窯内の温



窯の中の作品

「つやま子ども未来塾」は、子どもたちの郷土を愛する心と勤労観の育成、また、将来の市内定住へつなげることをめざして、市内企業や学校等との連携・協働による様々な体験講座を行っています。

今年度の初回は、6月11日(日)に「津山第一病院わくわく 病院探検ツアー」を実施し、小学校3～6年生の親子19組(44人)が、CTやMRIなど院内施設の見学のほか、電気メス・人工皮膚の縫合リハビリ体験などを行いました。

つやま子ども 未来塾



人工皮膚の縫合体験

子どもたちからは、「お医者さんが人工皮膚を縫う時に慣れた手つきですすごいと思った」、「できるだけの患者さんを救うためのいろいろな工夫がすごかった」、「将来看護師になって仕事がしたい」、「リハビリ機器をいろいろ試すことが楽しかった」等の感想が寄せられました。

今後も、年間を通して津山市内の企業見学や伝統文化の体験、地元産食材を使った調理実習などを実施する予定です。



リハビリ体験

度約1200度まで上げることで、釉薬を使わない焼き締めと炎の当り方や温度管理などで生まれる「窯変」など、備前焼の伝統的な技法を用いて焼き上げます。

今年度も、火入れから約2週間かけて焼き上げられた作品を、6月4日(日)に無事窯出しすることができました。世界にたった一つしかない作品には、金色に輝く「胡麻」や「火だすき」などが美しい模様や景色として映え、深い味わいがありました。

これからも多くの方に陶芸の魅力にふれていただけるよう、工夫した講座なども実施しますので、ぜひ一度作品作りに挑戦してください。

臨床心理士による訪問型支援事業について

教育相談センター鶴山塾では、国の「いじめ対策・不登校支援等推進事業」による「訪問型支援事業」を、国の委託を受け、7月から2月まで実施します。

この事業は、鶴山塾に配置された3名の臨床心理士が、不登校児童生徒を対象として、学校や関係機関等と連携を図りながら家庭訪問を行うもので、児童生徒や保護者へのカウンセリングを行います。また、支援を必要とする家庭と関係機関をつなぐ支援や電話相談、学校等を訪問しての面接相談も行います。



鶴山塾

鶴山塾では、臨床心理士による訪問支援を通じて、一人でも多くの不登校児童生徒が、鶴山塾や関係機関等とつながり、社会的自立ができるよう事業を進めてまいります。